

# 出穂1か月前から田んぼに水をかけましょう！

出穂期は平年並みの8月5日頃と予想されます。  
(6月30日現在)

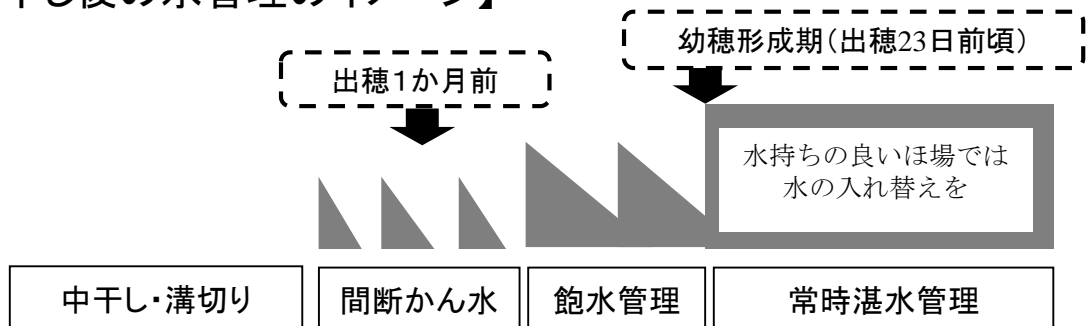
## 1 中干し終了後の水管理

○急な湛水は根を傷めます。中干し終了後は、間断かん水から飽水管理、常時湛水管理と徐々に移行しましょう。

特に幼穂形成期(出穂23日前)からは、常時湛水管理を行いましょう。

○降水量が少ない状態が心配される場合は、地域内・農家間で協力し、地域全体として効率的に農業用水を使用しましょう。

### 【中干し後の水管理のイメージ】



## 2 カメムシ、いもち病対策



○カメムシ対策のため、農道・畦畔の草刈りや水田内雑草(ヒエ、ホタルイ)防除を徹底しましょう。

※水路法面作業では刈草を用水や河川へ流さないようにしましょう。

○生育過剰のほ場やいもち病に弱い品種では、いもち病の発生に注意しましょう。

こまめな水分補給で、熱中症を予防しましょう。農作業事故に気を付けましょう。

不明な点は農協営農センターまたは普及センターまでおたずねください。携帯メール会員募集中！営農センターへお問い合わせください。